

### 新潟県作業療法士会ニュース

# 十 場

No. 20

# 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会開催 ~ 地域共生社会に向けた協働と挑戦 ~

公益社団法人 新潟県作業療法士会 会 長 新潟県リハビリテーション専門職協議会 会 長 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 大会長

#### 四方秀人

会員の皆様、表記大会への申し込みは、お済でしょうか? POSが合同で行う3年に一度の合同学 術大会です。そして、なにより当士会が主幹で行います。

単独で行う学会は、士会組織の中の学会運営委員会が行います。しかし、この学術大会は学会運営 委員会を中心としてほとんどすべての部局、理事を総動員し、且つ、理学療法士会、言語聴覚士会の 運営委員と共に進めている最大規模の学会となります。

内容に関しても特別講演一般市民公開講座、各種セミナー、演題発表とどの領域も世代も老若男女 問わず楽しめる・学べる学会をご用意できたと自負しております。

理事、委員長、委員は自分の時間と労力を使い「会員にとって有益な研修を!」という想いでとこ とん考え準備しました。どうぞ会員として「参加」という形でその努力に「ご褒美」をお願い致しま す。

作業療法士を取り巻く環境はリハビリテーション専門職を一括して大変厳しい時代に突入しております。国からは漫然と行われる機能訓練、生活機能訓練、卒業できない訪問リハ、長期入院、地域移行困難の精神科領域のリハ等という苦言がなされ、医療保険・介護保険の制度設計内で大幅な変更、縮小、包括化方向で進んでおります。

以前も広報誌朱鷺でお伝えしたこともありましたが、専門職として専門性(スペシャリスト)を磨き続けることは無論、作業療法士としての成熟を求められるジェネラリストとしての資質も大きく求められています。そして、多職種と協働し、行政や地域をコーディネートできる社会性も強く求められています。これらは単体の学会ではなかなか学ぶことができません。是非とも1日でも良いので好きな領域、得意な領域、専門領域以外も学びにきてみてはいかがでしょうか。

再度ですが3年に一度の開催です。次のOT主幹開催は9年後です。

多くの会員様のご参加を心よりお待ちしております。



今年度6月の役員選挙で理事18名と監事2名が新しく選出されました。2年間の任期においては、 公益社団法人として相応しく地域の医療や福祉等を担うことができる職能団体の一つとして、これまで 以上に新潟県作業療法士会を発展させることができるよう努めてまいります。

コロナ禍においてはなかなか皆様に直接お会いできる機会も多くありませんので、紙面上ではござい ますが一言ずつ次号と2回に分けてご挨拶させていただきたいと思います。



氏名 四方 秀人

所属 介護老人保健施設 三川しんあい園

担当 代表理事(会長)

6月の役員改選にて3期目の代表理事を拝命 致しました四方秀人でございます。我々を取 その変化に対応しながら、変わらぬ「作業の 執行役員・委員会・会員一丸となって創造し ていきたいと思いますので何卒宜しくお願い

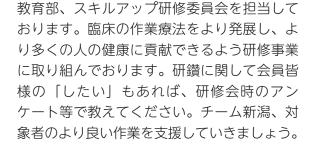


氏名 石井 晉

所属 新潟西蒲メディカル センター病院

担当 副会長、教育部

り巻く環境は目まぐるしく変化しています。 尊さ」を大切に事業運営を行って参ります。 致します。





氏名 門脇 高

所属 黒川病院

担当 副会長、 学会運営委員会

責任ある役割を仰せつかりました。皆様のお 力をお借りしながら自分なりに精一杯努めて 参りたいと思います。



氏名 村山 拓也

新潟リハビリテーション 所属 病院

担当 副会長、地域包括ケア システム推進委員会

介護老人保健施設で臨床経験をスタートし、 回復期を経験し、現在は主に整形外科領域で 臨床を行いつつ、新潟県介護予防アドバイザー として県内の市町村支援に関わっています。 会員の皆さんには、地域支援に関する事業全 般にご協力いただき感謝申し上げます。引き 続きご協力・ご支援いただければ幸いです。



氏名 青栁 美保

所属 新潟中央病院

担当 現職者選択研修会 学術誌編集委員会

今年度より、現職者選択研修会・学術誌編集 委員会の理事を拝命いたしました。日々回復 期病棟での患者様からの、感謝の言葉に支え られて仕事をしております。人との繋がりを 大切にして、会員の皆様と共に県士会の発展 に関われるように努力したいと思います。ど うぞよろしくお願いいたします。



氏名 尾﨑 生

所属 介護老人保健施設 緑樹苑

担当 広報部

大学を卒業後、臨床に出ると同時に広報部の 委員として活動をはじめ、いつの間にか理事 を任せていただけるようになり、はや6期目 を迎えております。40代となり使えるSNSと いえばLINEのみの自分ですが…広報部として 若い会員の皆様にもどうにか士会事業に関心 をもっていただけるよう日々苦心しておりま す。



氏名 伊東 紀子

所属 長岡療育園

担当 特別教育委員会

特別教育委員会を担当しています。学校訪問 支援事業を中心に行い、学校を理解して支援 できる作業療法士の育成研修会を年2回企画 運営しています。小児分野に興味のある方の ご参加お待ちしています。また学校訪問支援 事業にご協力していただける方ご連絡くださ い。お待ちしています。



氏名 北上 守俊

所属 新潟医療福祉大学

障害福祉対策委員会

2016年度より理事3期目で、臨床実習推進 委員会と障害福祉対策委員会を担当させてい ただいております。作業療法士は、医療のみ ならず福祉・司法・就労などにまたがる多く の課題に取り組む必要があります。会員諸氏 が、キャリアを積んでいくことができるよう、 これからも作業療法の発展に邁進いたします。



氏名 佐藤 主一

所属 介護老人保健施設 グリーンヒル与板

担当 生涯教育委員会

長岡市与板町の老健で勤務し18年が経ちまし た。これまで回復期、急性期、養成校を経て きましたが、改めて生活期の可能性や奥深さ、 おもしろさを感じています。生涯教育担当理 事としては2期目を迎えました。委員の方々 と共に、会員の皆様のスキルアップに尽力し たいと考えます。どうぞよろしくお願いいた します。



氏名 嶋倉 武文

医療法人越南会 所 属 五日町病院

担 当 精神分野推進委員会

今年度より、精神分野推進委員会の担当理事 に就任いたしました。五日町病院の嶋倉です。 気軽に参加できる研修会にする為に、委員の 方と試行錯誤しています。まずは、エント リーしてみてください。研修会やSIGを通し て、横のつながりを強くしたいと思っており ますので、よろしくお願い申し上げます。

# 令和4年度 (公社)新潟県作業療法士会 組織図

#### 公益事業

部名	部長	(業務執行	<b>行理事</b> )	委員会名	担当理事	委員	長
学術部	門脇	高	1	学会運営委員会	門脇高	平野	和行
			2	学術誌編集委員会	小山・青栁	田畑	智
教育部	石井	登	3	現職者共通研修委員会	藤本 聡	駒野	郁美
			4	現職者選択研修委員会	青栁 美保	上村	公子
			5	臨床実習推進委員会	藤本・北上	上杉	文都
			6	生涯教育委員会	佐藤 主一	本田	捳
					JAOT推進委員	三本田	岳
			7	生活行為向上マネジメント委員会	山中	智恵	
			8	スキルアップ研修委員会	石井 登	稲田	征男
広報部	尾﨑	生	9	広報委員会(HP・LINE)	尾﨑・渋谷	中嶋	優太
			10	公開講座企画実行委員会	松岡	大輔	
			11	Web 推進委員会	渋谷 亮仁	若井	貴志
事業部	村山小山		13-1	地域包括ケアシステム推進委員会	村山・齋藤	広瀬	純一
			13-2	ブロック化	齋藤・村山		
			14	地域共生社会推進委員会(茶の間)	松岡 大輔	椿	裕子
			15	特別支援教育委員会	伊東 紀子	室橋勇	真理子
			16	障害福祉対策委員会	北上 守俊	北原	亮
			17	福祉用具対策委員会	小山 智彦	榎本	康祐
			18	IT サポート委員会	渋谷	亮仁	
			19	精神分野推進委員会	嶋倉 武文	宗村	恵介
			20	保険委員会	松岡 大輔	内山	一真
			21	災害対策委員会	齋藤 元浩	齋藤	裕久
			22	移動支援対策委員会	村山 拓也	大平	弘樹
特設			23	POS学会運営委員会	四方	・門脇	

#### 法人事業

広報部	尾﨑	生	法1	会員向け広報委員会(朱鷺)	尾﨑	生	菅	隆之
事務局	山倉	宏美	法2	規約委員会	山倉	宏美	齋藤勇	真由美
			法3	倫理委員会	山倉	宏美	松下	裕
			法4	表彰委員会	山倉	宏美	石黒美	美知子
			法5	福利厚生委員会	石井			
			法6	事務局	吉井·山	倉·山中		
			法7	理事・監事				
			法8	財務部	吉井	真里		
			法9	総会議事運営委員会	山倉	・山中	佐藤	修司
			法10	選挙管理委員会	山倉	・山中	西澤原	<b>年里子</b>
渉外活動			1	新潟県リハビリテーション専門職協議会	四方	ず・村山・	・石井・	門脇
					訪問リハ委員:橋本 勇也			勇也
			2	新潟県民医療推進協議会(健康寿命)	石井	・尾﨑		
			3	新潟県民医療推進協議会(在宅ケア)	小山	智彦		
			4	新潟県民医療推進協議会(災害関係)	四方	秀人		
			(5)	フレイル克服プロジェクト	石井	登		
			6	新潟市在宅医療ネットワーク情報交換会	石井	登		
その他				新潟県作業療法士連盟		横田	剛	

#### 拘縮予防に有効な福祉用具の紹介

介護老人保健施設サンクス米山 作業療法士 中 嶋 未 希

今回は、手指の拘縮予防・ただれ等を防ぐことのできる福祉用具を紹介したいと思います。

脳梗塞や脳出血等の病気を発症すると、運動神経や筋肉のどこかに障害が生じてしまうことがあります。これにより筋肉が過剰に緊張したり、反対に弛緩したりと、身体を動かそうと思っても動かせなくなってしまうことがあります。動かす機会が少なくなると、筋肉が硬くなり、拘縮が進行してしまいます。その結果手指を握りこむことにより皮膚と皮膚の間で蒸れが生じ、ただれや臭いの発生、出血の原因となることがあります。その蒸れや拘縮の進行を予防できる福祉用具として「通気ビーズスティック」という商品があります。

使用方法は下記の写真のように3つ輪がついています。その輪に指を通し、握るように手にはめます。適度な弾力で手指の通気性を確保できるため、蒸れにくく、拘縮時の手指の間や手掌の臭い対策、 爪が手掌に食い込むのを防ぐのに役立ちます。

手元に「通気ビーズスティック」がないが、身近にあるもので代用したい場合は、ハンカチなどの大きさの布で代用可能です。ハンカチを広げ、対角線上に結ぶのみで装着する前の準備は終了です。出来上がったものを手に握っていただき、布の角をそれぞれの手指の間に挟み、はみ出た部分は軽く結ぶと外れにくくなります。ハンカチであるため、大きさが調整しやすく、洗濯もしやすいため衛生的です。

通気性ビーズクッションやハンカチを使用する場合は定期的に交換し、適度な関節運動をお願いいた します。手の大きさや、形、好みもあるため、使いやすいものをお選びください。



「通気ビーズスティック」



ハンカチで作る簡易代用品

今回紹介させていただいた福祉用具については、使用者の身体機能面や環境面・経済面など様々な要素を踏まえ、担当療法士や医療相談員・ケアマネジャー等と相談する際のひとつの考えとして参考にして頂ければ幸いです。

# 施設紹介のページ 🗟

# 医療法人愛広会 新井愛広苑

松下裕

新井愛広苑は、平成12年に妙高市に開設された介護老人保健施設です。長野県との県境に位置する妙高市は、日本百名山・秀峰妙高山の裾野に広がり、雄大な自然の景観が楽しめます。また、豪雪地帯としても有名で、毎年道の両側には数メートルの雪の壁が出現します。スキーやスノーボードをする人は、一度は訪れたことのあるところではないでしょうか。

当施設も妙高山を望む自然豊かな環境にあり、たまに鹿やクマが遊びに来るような施設です。リハビ

リスタッフはPT8名、OT4名、ST2名で、それぞれ専門性を発揮しながら協同して生活に関わっています。入所は定員100名、通所は定員35名で、訪問リハビリにも力を入れて取り組んでいます。

今年度より予防事業にもリハビリ職員の派遣を始めました。地域住民の介護予防から通所や訪問、入所やお看取りまでリハスタッフが関わることができるようになりました。それぞれの段階で関わり方は異なりますが、「一瞬、一瞬、人生によりそう」をモットーに利用者の生活を支え、地域にさらに貢献できるようにこれからも努力していきたいです。



# 医療法人社団 川瀬神経内科クリニック

岩島悠人

当院は、三条市内の県央工業高校の隣に位置しており、平成5年に開院しました。当院の裏には『かわせみと樫の森』という定員40名の通所リハビリテーション施設が併設されています。

当院は神経内科が専門で、認知症疾患医療センターに指定されているため、対象者はパーキンソン病などの神経難病の方や認知症の方が多くを占めています。

リハビリテーション科は現在、PT3名、OT3名、ST1名の計7名が在籍しており、外来リハビリ、



訪問リハビリ、通所リハビリを提供しています。

OTでは、対象者のできることを大事にし、生活の中でその方の能力を最大限に引き出して自信を持てるように支援しています。

今後も当院の『私たちは健康に働ける今日に感謝し、病に悩む人々に明るい笑顔と暖かい心で奉仕いたします』という基本理念のもと、患者様・利用者様の気持ちに寄り添ってリハビリを提供していきたいと思います。

#### 令和4年度 第3回理事会 議事録

日 時:令和4年6月12日(日)13:30~17:45

会 場:燕三条地場産業振興センター リサーチコア

出席者:四方、村山、青栁、伊東、尾﨑、門脇、北上、

斎藤、佐藤、渋谷、嶋倉、藤本、松岡、吉井、 山倉、山中、石井、小山(以上理事18名)

山启、山中、石升、小山(以上垤争16

水越、横田(以上監事2名)

#### I. 報告事項

- 1. 会長報告(四方会長)
- 1) 5月16日特別支援学校校長会へ伊東理事と出席。派遣事業の継続、講演派遣に関して説明。
- 2) 19日、理事に対して第2回POS学術大会の説明会 を実施。OT主催、全理事体制で臨む。
- 3)28日、日本作業療法士協会で代議員総会。
- 4) 30日リハ専門職協議会としてPT会長と県庁を訪問。介護予防アドバイザーについて申し入れ。
- 5)11日第1回47委員会。「日本作業療法士協会および都道府県作業療法士会48団体連絡協議会」へ名称変更。年1回対面、その他はWeb会議、交通費等で士会から1万円程度の負担金を徴収へ。

倫理問題に関する検討事案、啓発活動の重要性の 確認、職能団体としての対応方法論議が必要。

学術部より、今年度の全国学会(京都)は1日のみの参加費は廃止。厚労省精神障害保健課室長(OT)は12月のPOS学術大会でも講演依頼予定。

臨床実習指導者講習会の報告、対面とWebで差 異はないというアンケート結果。

全研にかわり「協会の方針や最新の報告を対面で 会員に伝える研修会 | を富山で開催。

MTDLPからの報告、臨床実践の中ではシートを 簡略化、実践者報告では士会でシートを選択できる ように。今年も指導者講習会を予定、各士会の代表 者選出をお願いしたい。

中村協会長より1960年代から始まって現在10万人。 組織率をどう上げていくかが課題。登録OT制度を 考えている。

7月の参議院選挙で小川かつみさんを応援する。 報酬等の制度改定に大きく影響するため各士会共に 協力体制を依頼したい。

介護職員等処遇改善事業アンケート (110施設に対して実施) について、結果をHPに掲載。

#### 2. 理事報告

- 1) 地域包括ケア推進委員会(村山副会長) 認知症UD研修の基礎研修を配信、応用研修を実 施予定。家族の会との関係性を構築目指す。
- 2) 移動支援対策委員会(村山副会長) 昨年と同様の内容の研修会を実施予定。
- 3) 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会(村山副会長) 各種研修会を企画。例年通りの予算で委託あり。 ケア会議の助言者向け手引きの見直しへ。
- 4) 新潟県リハ専門職協議会(村山副会長) 通所C支援、医療と介護の連携、耳の聞こえのリ ハビリの研修会を企画し進めている。
- 5) 精神分野推進委員会(門脇副会長) 情報共有会とリーズニング研修会を予定。年々参加者が増えている研修を通して非会員が正会員に繋がった事例も若干増えている印象。
- 6) 生涯教育委員会(佐藤理事) 新人オリを7月2日Web開催予定。5月26日に 生涯教育制度・受講履歴登録合同会議に参加。
- 7)特別支援教育委員会(伊東理事) 県内の各教育委員会に各種パンフ、学校訪問指導 の実績報告を郵送。今年度は事例検討(無償)3校 講師の依頼(有償)3校依頼あり。
- 8) 地域共生社会推進委員会(松岡理事) コロナ禍で茶の間の派遣中止も。今年度予算で フェイスシールドを購入し、派遣者に配布予定。 5月26日支部長会議。今年度から「地域共生社会 推進委員会」へ名称変更。8月にアンケート実施。
- 9) 公開講座企画実行委員会(松岡理事) リハ専門職学術大会のポスターを作成中。7月11 日完成を目標に印刷会社と調整中。
- 10) 広報委員会(石井副会長・尾崎理事) 広報誌「朱鷺」7月号作成中。LINEの配信方法 について検討中、原則毎月15日、30日に配信、配信 依頼は不要。リマインドが必要なら尾崎理事あてに 連絡を。現在LINE登録者数は362名。
- 11) 臨床実習指導者研修会(北上理事) 11月に研修会開催予定。
- 12)ITサポート委員会(渋谷理事) ST士会と、ITサポートセンターの協力で研修会 を予定。今年度はハイブリッドでWeb配信と会場 での機器体験を予定。
- 13) Web推進委員会(渋谷理事) Web配信用機材を購入。使用マニュアルとサポートシステムを作成していく。(四方会長より) オンデマンド配信を今後整備する必要あり。

14) 法人事業(山倉理事)

総会運営にあたり環境確認のため会場を下見。役 員選挙に伴う書類の作成、手配、管理を行った。

倫理に関して今年度は県士会でも体制整備へ。

15) MTDLP委員会(石井副会長)

基礎研修を7月3日に実施予定。県外OT含め定 員越えの申し込み。講師は持ち回りで動画配信予定。 フォローアップ研修は10月30日(認知症と精神科の 2テーマ)、事例検討会は3回(9月30日、1月25 日、集合型を11月27日開催予定)。

16) スキルアップ研修委員会(石井副会長)

第1回目:7月24日(脊椎疾患、新潟リハ病院 PT高野先生、OT村山副会長)

第2回目:11月13日(認知症、鹿児島大学OT) 9月に動画の配信研修(昨年度の研修内容)。

- 17) 福利厚生委員会(石井副会長) 9月9日夕方から交流事業を行う予定。
- 18) 渉外活動(石井副会長) 6月5日衆議院議員斎藤ひろあき議員会合に出席。 9日フレイル対策二次対策実施報告会に参加。
- 19) 福祉用具対策委員会(小山理事) 今年度は2回研修会(第1回:住宅改修、第2 回:福祉用具)を予定。
- 20) 在宅ケアを考える集い(小山理事) 「在宅ケアを考える集いin越後2022」11月にハイ ブリッドで研修会を予定。

#### 3. 事務局報告(吉井事務局長)

- 1) 総会、理事会1回目、各会議予定通り実施。年3 回の監査指導は4月に1回目終了。
- 2) 県から表彰者の推薦について、該当者なしと返信。
- 3) 財務<支出>:ホームページの管理(13万円)、LINE(毎月5500円)、Web機器関係の支払い(20万円)その他切手代や謝金、会場費等。

#### Ⅱ. 協議事項

- 1)第1号議案 令和4・5年度新潟県作業療法士会 役員体制について ⇒ 承認
- 2) 第2号議案 会員管理入会:13名、退会:1名 ⇒ 承認承認後正会員数:1058名(うち、休会者数:26名)
- 3) 第3号議案 補正予算について ケア協議会の委託金30万円追加 ⇒ 承認
- 4)第4号議案 理事会欠席時の手続きについて 理事会を欠席する場合、所定の書式に記載のうえ、 提出することに。 ⇒ 承認

5) 第5号議案 日当支払について

委員会議・事業・渉外活動以外の日当支払及び委 員の研修会参加費について、提案があった。

内容に関する意見や疑問点(一部抜粋)

日当支払には活動報告書が必要。合算して請求するには月と件数等を記載して提出。総額どのくらい費用としてかかるのか収支のどのくらいの割合になるのか ⇒ 総額は10万円程度の見込み。昨年は旅費交通費100万円程度余っており、支払う体力はあると思われる。できる限り公平に公益社団法人として設定することは可能。

研修会については、少しでも参加するなら参加費を払ってポイントを付与、運営だけであれば参加費なしポイントなし、日当ありでよいか。生涯学習ポイントに関しては研修に携わっていくというとらえ方で企画運営する側にも付与されてもよいと思う。

委員は当日の運営だけでなく準備のときから負担があるため、還元できるかたちがよいのでは。ポイントも付与できればよい。

以上を踏まえて「委嘱状を受けた委員会主催の研修会は参加費無料とし、生涯学習ポイントは、付与される。」その他については審議継続 ⇒ 承認

6)第6号議案 広報部 高校生向けOT紹介動画 内容報告、様々な分野で働く若手OTに出演依頼 予定。完成次第、理事へ報告し審議。 ⇒審議継続

7) 第7号議案 第2回新潟県リハ専門職学術大会

進捗状況の報告、各担当理事・委員会の役割の確認を行った。各担当となった理事は責任を持って全体スケジュールの締め切り日を厳守し、委員会内で準備・検討を進めてほしい。疑問・困りごとは門脇副会長、平野学会運営委員長に連絡してほしいことを共有。 ⇒決議事項なし

以上





介護用品、レンタル・販売 リハビリ機器、医療機器販売

# (株)いわしや 悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848 新潟営業所 TEL 025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド

- ・コミュニケーションエイド・福祉機器
- ・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

# (株) G · T · B

(オーエックス新越)

₹956-0017

新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27 TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710 http://www.gtb-niigata.jp/

### 義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社团法人 日本義肢協会登録,中部125号



A 梯田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11

TEL 025 281-0303 FAX 025 281-0339



#### 新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

### No.20 2022年11月25日発行

発行責任者:四 方 秀 人 編集責任者:尾 﨑 生

発 行:公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1 総合リハビリテーションみどり病院

印刷:株式会社タカヨシ



[日 時] 2022年12月10日(土)~11日(日)

[会場] 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

[大会長] 四方 秀人 (公益社団法人 新潟県作業療法士会 会長/介護老人保健施設 三川しんあい園)

[主 催] 新潟県リハビリテーション専門職協議会

[共 催] 公益社団法人 新潟県作業療法士会 / 公益社団法人 新潟県理学療法士会 / 一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

[協力] 株式会社オリィ研究所